

24	単元名	12課 服を着ます・服を着ました	2/2
----	-----	------------------	-----

1 単元目標 身支度に関する動詞を使って話すことができる

2 単元の指導内容（本時 2/2）

課	単元	指導内容	主な表現と語彙（例）	字
12	23	・ 身支度に関する動詞の使い方	「かおをあらいます。」「はをみがきます。」 「ずぼんをはきます。」「ふくをきます。」 ふく・ぼうし・くつ・めがね・てぶくろ	ア・イ・ ウ・エ・ オ
	24	・ 身支度に関する動詞の過去形の使い方 ・ 色を表す形容詞	「わたしは、○じに、おきました。」 「わたしは、きょう、かおをあらいました。」 あかい・あおい・きいろい・くろい	カ・キ・ ク・ケ・ コ

3 本時の指導目標

- (1) 「ました」を使って動詞の過去形を作ることができるようにする。
- (2) 「○時に○ました。」の表現を使って、時間に沿って話すことができるようにする。

4 指導のポイント

- (1) 「服をきます。」を「服を着ました。」のように「ます」を「ました」に変えると過去形が表現できることを理解させる。
- (2) 時刻に「に」を付けて話したり書かせたりする練習をし、朝の行動を時間の流れに沿って表現させる。

5 アクティビティ（活動）の方法及び留意点

【留意点】

- 色を表す表現には、「赤い服」のように（色を表す形容詞＋名詞）と「緑のズボン」のように（色を表す名詞＋の＋名詞）とする場合とがある。これらを一度に習得させることは難しいので、初めは学習する色の名前をある程度の数に抑えて教える。色鉛筆を1本ずつ持ち上げて色を言わせたり、カードゲームで数と色を合わせながら、ゲームの中で色の名前を言わせたりする方法がある。
- 過去を表現する場合には、敬体の動詞「○○ます」の語尾を「ました」に変えればよい。既習の動詞を動詞カードを用いながら過去形にして言う練習をさせたり、昨日の出来事を時系列に説明させたりして、反復練習を通して定着を図る。

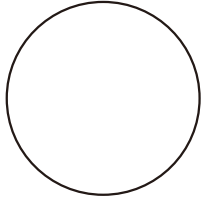
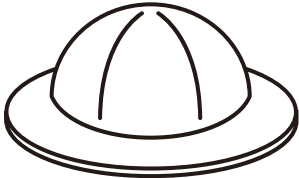
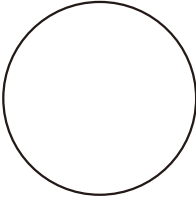
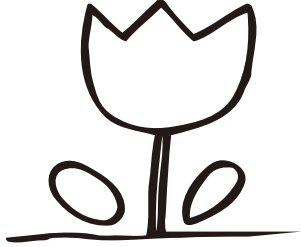
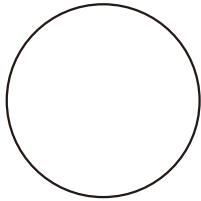
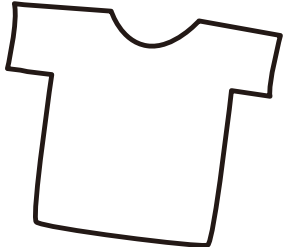
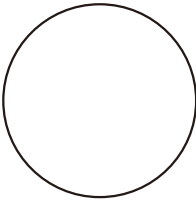
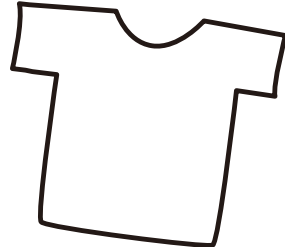
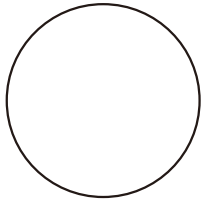
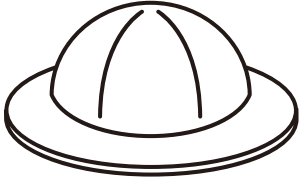
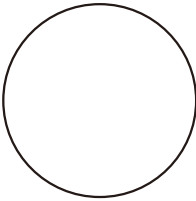

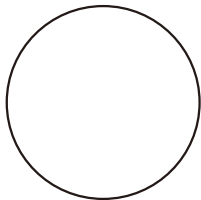

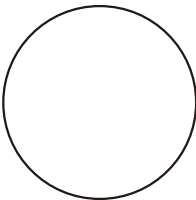

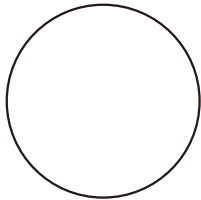
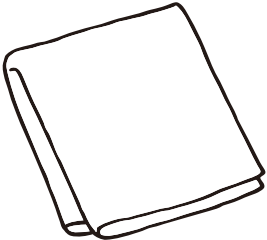
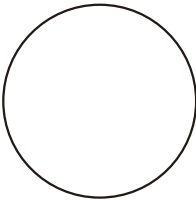
過去形の習得に当たっては、簡単な表現で日記を書くことも効果的である。初めは母語が混ざったり事実だけの表記に終始したりしても、日記を書いたことを誉めて、児童・生徒の学習意欲を高める必要がある。

6 本時の展開

	学習内容	指導内容等	留意点・教材
挨拶	始めの挨拶 日付・曜日・天気 前時の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・始めの挨拶をする。 ・日付、曜日、天気を答えさせ、板書する。 ・前時の復習を行う。 	
活動 1	表現① 色の名前 あか・あお・きいろ・ くろ・しろ	<ul style="list-style-type: none"> ・教材・ワークシートの○に色鉛筆で色を付けながら「赤・青・黄色・白・黒」など色の名前を教える。 ・自分が身に着けている物について説明させる。 ・赤い服・緑のズボンのように名詞を修飾する際に「い」や「の」が付くことを確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材・ワークシートの絵を活用する。 ・色鉛筆を持参させる。
活動 2	文型① 過去形 ○じにおきました。 ○じにごはんをたべました。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が自分の朝の行動を説明する。「私は6時に起き<u>ました</u>。」など ・児童・生徒にも朝の行動を表現させる。 「私は、○時に<u>おきました</u>。」 「顔を洗<u>いました</u>。」 「青い服を<u>きました</u>。」 「○時にご飯を<u>たべました</u>。」など ※【活動 1】で学習した色の名前も使えるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去を表す「ました」の部分に下線を引いて強調する。 ・板書の際には、「かおを <u>あらいまし</u>た」のように助詞の後に空白を入れて示すと分かりやすい。 ・「○時に」の表現は、起床・食事・学校に着いた時間に限定して練習させる。 【発展】必要に応じて、「○ませんでした。」を教える。
活動 3	文字 片仮名 カ・キ・ク・ケ・コ	<ul style="list-style-type: none"> ・「カ・キ・ク・ケ・コ」の書き方を練習させる。 ・カード・クッキー・ケーキ・コアラなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名との形の共通点を示しながら指導する。 【宿題】ノート練習
挨拶	終わりの挨拶	終わりの挨拶をする。	

7 教材・ワークシート

○のなかやえに いろをつけましょう。

<p>あか</p> 	<p>あかいぼうし</p> 	<p>ピンク</p> 	<p>ピンクのはな</p> 
<p>あお</p> 	<p>あおいふく</p> 	<p>みどり</p> 	<p>みどりのふく</p> 
<p>きいろ</p> 	<p>きいろいぼうし</p> 	<p>みずいろ</p> 	<p>みずいろのくつ</p> 
<p>くろ</p> 	<p>くろい くつ</p> 	<p>ちやいろ</p> 	<p>ちやいろい くつ</p> 
<p>しろ</p> 	<p>しろいハンカチ</p> 	<p>()</p> 	<p>()</p>

朝のできごと



何時に おきましたか？

わたしは、 _____ におきました。

何をしましたか？ (○しました。・○ませんでした。)



どんな いろの ふくを きましたか？

• _____



• _____



• _____



• _____



どんな いろの くつを はきましたか？

• _____



なんじに なにを しましたか？

• _____ じに _____ ました。



なんじに なにを しましたか？

• _____

ねます おきます ごはんをたべます ふくをきます はをみがきます はきます
ぬぎます あります (家を出ます・学校へぎます・家へ帰ります。)

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30